

# 平成 25 年度山形県看護教員養成講習会実施要綱

## 1 講習会の目的

山形県看護教員養成講習会（以下「講習会」という。）は、看護職員の養成に携わる者に対して必要な知識及び技術を修得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図ることを目的として実施する。

## 2 主 催

山形県

## 3 実施方法

委託

## 4 講習会場

公立大学法人 山形県立保健医療大学（山形市上柳 2 6 0 番地）

## 5 講習期間等

講習期間は、平成 25 年 5 月 9 日（木）から平成 25 年 12 月 20 日（金）までの間（予定）とする。ただし、原則として土曜日、日曜日及び祝日を除く。

講習時間は、原則として午前 8 時 50 分から午後 5 時 50 分までとする。

## 6 受講定員

25 名

## 7 受講資格

受講資格は、保健師、助産師又は看護師として 5 年以上業務に従事した者であって、現在看護教育に従事し、又は講習会修了後に看護教育に従事する予定にある者とする。

## 8 講習科目及び時間数

別紙 1 のとおり

## 9 受講料

県内受講者（山形県内に勤務又は在住している者） 140,000 円

県外受講者（上記以外の者） 200,000 円

※その他、講習会受講に必要な経費（食費、宿泊費、交通費及び図書費等）は、受講者の負担とする。

## 10 修了認定

講習会の修了の認定は、受講状況及び各受講科目の評価により決定し、講習会の修了者には修了証を交付する。

## 11 検討組織

講習会の企画運営及び修了認定並びに開催後の講習会の実績及び成果について評価・検証を行うため、山形県看護教員養成講習会企画運営会議を設置する。

## 12 その他

(1) 受講者は、選考のうえ決定する。

(2) 受講に際し宿泊を要する者は、受講者各自において宿泊施設を確保すること。

別紙1

山形県看護教員養成講習会 授業科目一覧

区分	教育内容	授業科目	単位	時間数	学習目標・ねらい	主な内容	
基礎分野	看護教育の基盤	論理的思考	1	15	60	論理的思考法の基礎を理解し、道筋のおおった意図の伝え方を習得する。論理的に思考するプロセスを実際に経験することを通じてプレゼンテーション力の向上を目指す。	論理的思考の意義と課題/ロジカルシンキングの基礎と実践/効果的なまとめ方とプレゼンテーション/論理的思考方法 など
		人間関係論	1	15		専門職としての活動において、人間関係のあり方を振り返るための基礎知識を身につける。	人間の欲求から人間関係を考える/社会心理学の視点から人間関係を考える/自己理解から人間関係を考える/コミュニケーションと人間関係/看護の視点から人間関係を考える など
		看護倫理	1	15		看護教育における倫理ならびに看護倫理を理解し、看護活動の根底をなす人権尊重の実際や倫理の重要性を学生が理解できるように教授できる能力を育成する。また、学生の権利擁護と意思決定を支援できる能力の育成を目指す。	倫理の概要/看護倫理教育の目的、内容/人権擁護の動きと倫理 など
		情報科学	1	15		様々な情報メディアを通して、適切に情報を活用する能力を身につける。基本的なソフトウェアを用いた情報表現の手法を理解する。データの取扱いや情報表現などにおける倫理を理解する。情報メディアの講義や教材作成への効果的な活用法の基本を身につける。	情報科学とは、コンピュータと周辺機器、扱う情報、著作権・モラル・保全/ソフトウェアの基本/データの集計と分析/情報の検索方法、ワードプロセッサや表計算ソフトなどへの活用/プレゼンテーション(情報収集、資料の作成、実践) など
教育分野	教育の基盤	教育原理	1	15	90	教育の現代的意味(概念)を理解する。つまり、現代の教育は、教師中心の教育(教授)から学習者中心の教育に転換したことを理解し、それが、教育の方法・内容にも変化をもたらしたことを知り、教師になるうとする者は、その変化を踏まえて教育に当たらねばならないことを認識する。	教育とは/教育の歴史/現代の学校教育の教育方法と教育課程の特徴/専門職を養成する教育システム など
		教育方法	1	30		授業の様式、教えるという行為、学びの実践に関する、哲学、歴史学、社会学、心理学をはじめとする多様な分野の理論や知見を学ぶ。また、具体的な授業の方法や場面を想定し、様々な教育方法について比較・検討して学ぶ。	授業と学びの世界/授業の様式/授業の歴史/教えるという行為/専門家としての教師/学習論の現在/協同的な学び/カリキュラムの開発/教育内容と教材/学習指導の過程/学習集団の形成/指導方法と指導技術/教師の発問と学習者の問い/学習環境の整備とメディア活用 など
		教育心理学	1	30		教育心理学における基本的な内容、特に発達、学習及び教育の問題を心理学的に理解する。	教育心理学の歴史と役割/成長発達に伴う学習者の心理的理解/対人関係と学習/学習意欲/学習者の個別的理解/行動主義からみた学習/認知主義からみた学習/学習指導の理論/協同学習と学習集団/学級集団の特徴/集団における心理/個に応じた教育/自己学習力の育成/授業の心理学 など
		教育評価	1	15		教育評価の意義と技法、教育実践における教育評価の実際と課題について理解する。	教育評価の意義と歴史/教育評価の目的と考え方/教育評価の種類/評価資料収集の技法/評価の手順と実際/教育実践における評価の実際と課題 など
専門分野	看護論	看護論	1	30	60	自らの看護観を確かなものにしていくために、看護の主な概念や諸理論を学習することによって、看護に対する理解を深める。	看護の定義とその変遷、看護理論と看護実践の関係/「人間」「健康」「環境」「看護」の概念の明確化/ナイチンゲール看護論、科学的看護論/ケアリング/生きるとは死ぬとは/生活者を支える、家族を支える など
		看護論演習	1	30		自己の看護実践を看護とは何かを考える観点(看護理論などに)照らしながら振り返ることができる。自己の看護実践場面を基盤とした看護とは何かに関する自分の考え方についてグループメンバーと議論することができる。看護を教育する者が看護論を理解することの必要性を実感することができる。自己の看護実践の振り返りを基盤とした看護観を論理的に記述することができる。	看護師の役割と看護の専門性、看護活動の場と対象のニーズを踏まえた看護論や看護理論の理解/自己の看護実践に基づく看護の考え方/人権意識、倫理的葛藤を踏まえた自己の看護実践の振り返り、看護とは何か/看護論や看護理論を活用した看護実践場面の分析・評価/自己の看護観の明確化と論理的な記述 など
	看護教育学	看護教育論	1	15	30	看護教育とは何かを概観した上で、今日求められている看護教育のあり方を学ぶ。また、看護教師の役割とあり方を追求する姿勢を培う。	看護と教育の関係/日本の看護教育の現状と特徴/看護基礎教育における学生の理解/看護基礎教育の目指すものと教師の役割/看護教師の責務と業務の範囲/看護教師に望まれる資質と能力/これからの看護教育 など
		看護教育制度	1	15		看護教育制度の変遷と現在の教育制度について理解する。	看護教育制度の成り立ちと歴史の変遷/現在の看護教育制度/看護教育に関する各種報告書/現在の看護教育の問題点と将来展望 など
看護教育課程	看護教育課程	看護教育課程論	2	45	105	看護教育課程編成の基本的考え方を学び、看護学全体の構造を理解する。	教育課程の基礎理論/看護教育課程の理解/看護教育課程の編成方法/看護教育課程の評価の考え方と方法/カリキュラムの実際の検討/保健師および助産師教育課程の構成と教育内容 など
		看護教育課程演習	2	60		看護教育課程編成のプロセスを学び、看護教育のあり方を理解する。	看護教育課程編成の方法と実際(看護教育のニーズと制約、教育理念、目的、目標、教育内容の抽出、教育内容の組織化など)/看護教育課程に関する課題 など

専門分野	看護教育方法	看護教育方法論	3	90	270	教育の基盤や看護教育論での学習を踏まえて、教授する科目の目標および内容について教授方法、教材の選定と活用について具体的に学び、授業を展開する能力の育成を目指す。	看護教育方法論の到達目標と学習構造/看護教育における教授-学習過程の成立/看護教育における教材と教材研究/看護教育における技術教育および問題解決能力、「統合」する力を育成する方法/看護教育における教授学習計画作成の考えと方法/看護指導技術の種類と特徴/授業評価の考え方 など
		看護教育方法演習	3	90		学習指導計画・指導案を作成し、模擬授業を行い(実習指導を含む)、その結果を考察し看護教育方法を身につけ、自己の看護観・教育観を深める。	学習指導計画作成の実際 講義の指導案作成/演習の指導案作成/臨地実習の指導案作成/カンファレンスの指導案作成 課題の明確化 など
		看護教育実習	2	90		実習校での講義及び臨地実習指導の体験を通して、学生を個人、集団として理解し、実践的な教育方法を追究する。また、自らの教育活動を評価することにより、看護教員としての自己の課題を明確にする。さらに、実習体験を内省することにより、看護教員としてのあり方や自ら学び続けることの価値を再確認する。	オリエンテーション/学習目標および看護教育実習のすすめ方についての確認/教育実習計画の立案/講義および臨地実習指導の準備・実施・評価 など
	看護教育演習	専門領域別看護論	1	15	75	各専門領域別看護(指定規則の専門分野Ⅰ:基礎看護学、専門分野Ⅱ:成人/小児/母性/老年/精神、統合分野:在宅/統合)のうち、統合分野の具体的項目である在宅看護、国際看護、災害看護、医療安全、看護管理に関する教育内容の概要と構造を理解する。	看護師教育における統合分野の教育内容/在宅看護の教育内容の概要と構造/国際看護の教育内容の概要と構造/災害看護の教育内容の概要と構造/看護管理の教育内容の概要と構造 など
		専門領域別看護論演習 *選択制	2	60		各専門領域別看護の教育内容、教育方法について学ぶ。	【統合分野を含む専門領域から一領域を選択】 基礎、成人、小児、母性、老年、精神、在宅、統合
	看護教育評価	看護教育評価論	1	30	60	「教育の基盤」として学んだ教育評価の知識に基づき、看護教育における評価の実際について理解し、効果的な教育活動の展開に向けて活用できる評価方法について検討する。	看護教育における評価の目的と機能/看護教育における教授・学習と評価計画/授業形態と評価計画の作成 /臨地実習と評価計画/看護教育評価の現状と課題 など
		看護教育評価演習	1	30		看護技術評価表を作成し、看護教育評価の理解を深める。	看護技術評価表の作成(評価目標、評価の大項目・小項目の決定)/作成した看護技術評価表を用いた看護技術の評価の実施/評価結果の振り返り/看護技術評価表の改良 など
	研究	研究方法	2	60	60	看護研究の意義と目的を理解する。看護研究における研究デザイン、研究プロセス等を学び学生への看護研究の指導方法を考える。文献の意義、文献検索方法を学び、看護学教育における研究成果の活用について学ぶ。	看護研究の意義と目的/研究プロセスと研究デザイン/文献の検索と活用/量的研究方法と質的研究方法/看護研究の倫理/論文読解と研究成果の活用/学生が事例研究・実態調査研究を学ぶ意義と指導方法/研究結果の効果的なプレゼンテーション/研究計画立案のポイント/看護学における研究の現状と課題 など
	看護学校経営	看護学校管理	1	15	15	看護学校組織の一員として連携して教育環境を調整する能力を養う。看護学校の組織運営の特性と管理の在り方を学ぶ。	学校管理の基本/看護学校運営に関する指導要領及び手引きの理解/看護学校経営と組織運営の特性/学校管理における教員の役割/看護学校における管理の実際(人事管理、学級管理、事務管理、図書管理、施設・設備管理、危機管理、情報管理など)/看護学校運営の評価と今後の課題 など
	関連分野	その他	リフレクション	1	15	30	看護教育におけるリフレクションに関連する諸概念を理解する。リフレクションの概念をふまえて、『リフレクションをする』ことを体験的に理解する。学生のリフレクションを支援するファシリテーターとしての役割を体験的に理解する。
健康政策と医療経済			1	15	健康政策の世界的潮流を概観しながら、わが国の保健医療福祉施策の課題などを理解し、今後の保健医療専門職の役割について考える。看護教育に携わる者として、医療保障制度に関する概要について再確認するとともに、近年の国内外の動向を踏まえて、保険診療の基本的な当事者関係に関する知見を深める。		医療保障体制のあり方/保険診療をめぐる当事者関係/健康とは何か/健康政策の世界的潮流/わが国の保健医療福祉施策の変遷と課題/保健医療福祉サービスの方向転換
			34	855			

深刻な看護師不足の解消に向け、看護師志望の学生を指導する教員を増やす県の取り組みが始まった。山形市の県立保健医療大で9日、養成講座の開講式が行われ、県内の16人を含む26人の看護師ら

が臨んだ。今後、教員資格取得を目指し、同大で行われる8カ月間の講座を受講する。養成講座が県内で開かれるのは初めて。県は看護学校などの教員を増やし教育環境を充実させる考えだ。

## 県 看護師不足解消へ教員養成

# 26人受講スタート

東北では宮城、福島両県が養成講座に力を入れており、これまでは本県の希望者も両県で受講していた。講座は数年置きに開かれてきたが、東日本大震災の影響で宮城県での開講が難しいこともあって、本県が開講に乗り出した。今回の受講生の中には宮城、福島両県の受講生8人も含まれている。

開講式では同大の青柳優理事長が「看護教育の質のレベルアップにつなげてほしい」と述べた。受講生を代表し、日本海総合病院の足達美奈さんが「看護教員を目指す開講式に臨む受講生」と決意を述べた。

受講資格は看護師や保健師の現場経験が5年以上あること。受講者は県立保健医療大の教員らから、看護教育学、看護論演習などの講義を受ける。カリキュラムを全て修了すると看護師の資格が得られる。

県内の看護師不足は依然深刻だ。県が昨年6月に行った調査によると、県内各病院の看護部長が理想とす

立保健医療大

